

湖誠会

議会だより

〒520-8575 滋賀県大津市御陵町3番1号 TEL.077-528-2839 FAX.077-523-2020 URL▶http://otsu-koseikai.jp

ごあいさつ

清秋の候、市民の皆様には、平素より湖誠会に對しまして温かいご支持、ご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、去る9月議会では、平成25年度の本市決算を審議いたしました。昨年度は、総合計画第3期実行計画のスタートの年度として重点施策の着実な実施に努めるとともに、持続可能なまちづくりと財政健全化の両立が図られた結果、実質収支は、昭和53年度以降、36年連続の黒字となりました。

今後とも、無駄を省き、予算を有効に活用するよう、行政の監視機能を果たしてまいります。

ところで、議員の政務活動費の不適切・不透明な支出が全国的に問題となっております。大津市議会では、平成13年の制度創設当

初から、1円以上のすべての領収書の添付が義務付けられているとともに、使途については全面的な情報公開に対応するなど、説明責任を積極的に果たしております。

わが湖誠会といたしましても、市民の皆様からお預かりした税金であることとしっかりと認識し、これからも適正な使用に努めてまいります。

最後になりましたが、8月5日に伊藤 茂議員が湖誠会に入会されました。本会の所属議員数は15名となりました。今後とも、湖誠会並びに会派所属議員に對し、変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます、ごあいさついたします。

幹事長 竹内 昭夫

平成27年度「政策要望」を市長に提出



- 右から
- 竹内 基二議員
- 伊藤 茂議員
- 中野 治郎議員
- 八田 憲児議員
- 北村 正二議員
- 桐田 真人議員
- 竹内 昭夫議員
- 武田 平吾議員
- 青山三四郎議員
- 越 直美市長
- 横田 好雄議員
- 園田 寛議員
- 伴 孝昭議員
- 鷺見 達夫議員
- 津田 新三議員
- 近藤 眞弘議員

安心・安全な住みよい大津となるよう、「政策要望」を提出し、市民の皆様への代弁者として、会派の総力をあげて取り組んでまいります。

その項目は、政策要望116項目、地域要望134項目について15名の会派議員全員で越市長に提出しました。

要望内容の詳細についてはホームページをご覧ください。



行政視察報告

札幌市まちづくり戦略ビジョンについて

先人たちが築き上げてきた、魅力的なまちを受け継ぎ、札幌の未来をつなぐ子どもたちに良好な形で引き継いでいくために、市民・企業などが、このビジョンを共通の指針として認識し、自分の役割を果たしていくことと、札幌・北海道の新しい未来を切り拓くものである。その中で市民が目指すべきまちの姿とまちづくりの方向性を共有し、共に取り組んでいくために札幌市まちづくり戦略ビジョンを策定された。

策定過程では、市民会議をはじめとする市民参加のステージを設け、幅広い世代の市民参加を目指すなど「市民とともにつくる」という策定プロセスを重視された。

本市においても、今後の課題として札幌市と同じく、人口減少・少子高齢化・地域ごとの人口推移・経済規模の縮小・エネルギー問題など社会経済情勢の変化は、十分考慮する必要があるが、まちづくりは「市民とともにつくる」ということを忘れてはならない。

小樽市観光振興施策について

小樽市は、汚泥化した運河を埋め立てるか、運河として再生するか、の運河論争により、市民のまちづくりに対する意識が高まり、昭和61年運河整備完了後、再生した運河や倉庫群を含む歴史的建造物などが形成する独特な都市景観を利用して、国内のみならず東アジアでも有名な観光都市に発展してきた。

本市と小樽市は、ともに海(湖)と山に囲まれた自然環境が似通っており、かつ有数の歴史的建造物などの観光資源があるなどの共通点が多い。

そうした環境下において、観光都市を目指し、小樽観光協会の実行委員の方々が中心となり、観光振興を推し進めており、それらの取り組みは、本市における、魅力的な観光施策の政策提言をする上で有益な視察となった。



鉦路市公共施設等適正化計画について

公共施設は、高度経済成長と人口増を背景に行政サービスの提供を目指して全国的に整備に取り組んだ。しかし、本市においても経年劣化による老朽化が進み、建て替えや修繕に多額の費用が掛かり、大きな財政負担となり厳しい財政状況下、施設の維持が困難になるため、先進地の鉦路市へ伺った。

調査項目としては、現状と課題であり、市の概要は全国有数の広大な行政面積を有し、人口減少が顕著であり市税が減収、市民一人当たりの保有面積は全国平均の2倍近くを占め、多くの公共施設が、築30年以上で耐震基準を満たしていないこと及び投資的経費が維持できず、更新できないという問題である。

本市も同様の問題を抱えており、将来への負担増とならないよう市民の安全を確保するための施設となるよう、鉦路市の内容を参考に議会として十分に議論し検討していく必要性を認識した。

大津市議会 第9回マニフェスト大賞



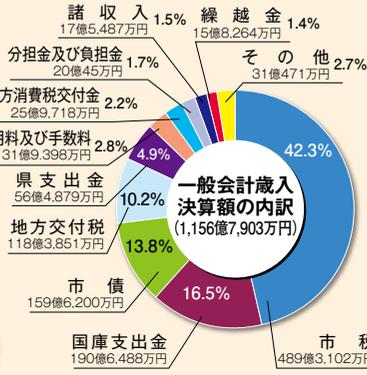
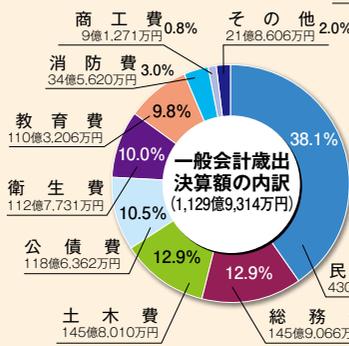
優秀復興支援・防災対策賞を受賞!

地方自治体や首長、議会などの先進的な活動や優れた取り組みを表彰する「2014年第9回マニフェスト大賞」の各部門優秀賞が発表され、大津市議会の議会BCP(業務継続計画)が「優秀復興支援・防災対策賞」に選ばれました。大津市議会は、昨年度の全国議会でトップとなる「マニフェスト大賞」議会の受賞となります。

湖誠会は、防災対策を最優先課題の一つと位置付けており、議会BCP、そして(仮称)防災基本条例の制定を提案したところです。今後とも湖誠会では、市民の皆様へ安心・安全に暮らしていただけるよう、災害に強いまちづくりに向けて、全力を尽くしてまいります。

平成25年度決算を認定しました

平成25年度の大津市の決算は、36年連続の黒字決算となり健全財政を堅持しています。



平成26年度 9月補正予算が決まりました

平成26年度9月補正予算が9月通常会議で可決されました。

9月補正予算には、湖誠会が政策要望で求めていたコールセンターの設置費、幼稚園の空調設備の整備に伴う実施設計などの予算が盛り込まれ、政策の実現が図られました。



平成26年度 一般会計補正予算	
補正前予算額	1,119億7,497万円
+ 9月補正予算	17億7,123万円
補正後予算額	1,137億4,620万円

主な事業内容

- 予防接種(水痘・高齢者肺炎球菌)定期接種化推進事業
- コールセンター設置事業
- 道の駅「妹子の郷」整備事業
- 富士見市民温水プール移転築に伴う調査設計
- 隣接国有地を活用した庁舎整備検討事業



道の駅「妹子の郷」完成予想図

9月通常会議 一般質問

Q 中野 治郎議員

子ども・子育て支援新制度の対応について
公立幼稚園の適正規模を下回る学区へ、「子ども・子育て支援新制度」で地域の意向に沿った課題解決は図れるのか伺う。

A 「公立幼稚園のあり方基本方針」策定後保護者や地域関係者、小中学校長等で組織する園協力者会議において、幼児期の生活にふさわしい環境を保障する教育的課題について意見をいただいている。今後は「大津市立幼稚園・保育園のあり方検討会」の協議内容を踏まえ、市の方針に基づき、地域や各園の実情に応じ、具体的方策について協議を進めていく。

Q 津田 新三議員

大津市湖西台土地区画整理事業廃止に伴う土地利用対応について
大津湖西台土地区画整理事業について、株式会社大林組より当該地域に所有する土地の無償譲渡の提案であるが、市の今後の対応方針を伺う。

A 当該区域における都市計画道路の円滑な推進と、当該区域にふさわしい土地利用の可能性について検討する必要があるとの考えから、今年度、庁内関係部局により協議の場を設け、事業者の提案内容と協議経過を共通に認識し、その上で課題の抽出を行っているところである。今後は、さらに必要な資料を収集し、中長期的な見地で企業立地を含め、有効な土地利用の可能性について検討を行う予定である。

Q 桐田 真人議員

道路維持管理業務について
現在の道路維持管理業務における事務執行手順を半減、要望から対応完了までの期間を約3週間短縮する事を可能とする「単価契約制度」を新たに導入すべきと考える。見解を伺う。

A 単価契約の導入により、事務の迅速化および事務量を10%軽減でき、さらに、完了までの期間についても短縮できると考える。まずは、平成27年度から道路舗装やライン復旧などについて導入を行い、他の分野における導入についても研究を進める。

※解説…一般的に単価契約とは、数量を確定することができないものについて予定数量を推定し、単価を定め、実績数量に乗じて代金を支払うことを内容とする契約

Q 北村 正二議員

合併設計画について
近江舞子駅バリアフリー化のJR西日本との協議の現況、また生涯学習施設の拠点づくりとして公民館の取り組みについて、そして農業分野はどうか伺う。

A バリアフリー化については、今年度はJR西日本コンサルタンツ(株)に基本設計を委託している。実現に向けて取り組む。小松・和邇公民館は、市全域の全体的な施設配置の方向性も踏まえ、合併設計画に位置付けられた事業であり、地元の皆様との協議を頂き検討したい。農業分野は「道の駅」において販売する農産品等のルート開拓・拡充の取り組みの中で施策に繋がることを期待したい。

Q 伊藤 茂議員

地域の危機管理について
震災時に消火栓が破断した場合、膳所学区において、具体的な取水・消火計画について伺う。

A 膳所学区の東側は琵琶湖の水源を主として消火活動にあたり、西側は杉浦児童遊園地に60t、膳所城跡公園駐車場、相模川会館に各100tの耐震性貯水槽が設置されており、他に膳所小学校・栗津中学校プールの採水口、相模川等の河川、池などの水源を確保し、消火活動にあたる、これらについて日常的に点検を実施している。来年度、膳所小学校への耐震性貯水槽の設置に向け調査・設計を進めている。

Q 近藤 真弘議員

障害福祉について
本市の障害福祉の取り組みは他市と比較し充実しているが、次期計画において更なる充実を図るため以下質問する。①障害のある方や団体の声をどのように反映し、策定するのか②グループホームのあり方③特別支援学校卒業生の進路④利便性の高い庁舎執務室のあり方などについて伺う。

A ①団体への聞き取りとアンケートを実施し、実態に即した実効性の高いものにする。②整備は十分に進んでいないので、国の補助を活用し積極的に取り組む。③必要に応じて事業所の整備等を進める。④福祉・高齢者・介護部署を一階に設置するよう関係各課と検討する。

Q 青山 三四郎議員

平成25年度の決算について
経常収支比率などの指標の改善は、アベノミクスの効果が反映した結果か。また政府の掲げる成長戦略のもと、景気回復が加速化したとしても、財政需要が今後も増大する見込みの中で、市長はどのような方針で財政運営に臨むのか伺う。

A 経常収支比率の改善は、普通地方交付税や臨時財政対策債などの増額によるもので、個人や法人市民税は減額となっており、景気の回復によるものとは考えにくい。今後、依然として厳しい財政状況が見込まれるため、将来世代の負担軽減や平準化を視野に入れた予算編成に努めるとともに、行政改革や公共施設のマネジメントを推進していく。

Q 伴 孝昭議員

中心市街地のまちづくりについて
今年度より、新たな動線として考えておられる大津駅前、中央大通りにぎわいや活性化策をどのような方法で構築されるか見解を伺う。

A イベントや定期的な市を開催するなど、ソフト事業の実施を検討するとともに、(株)まちづくり大津や他の関係団体と連携しながら歩道や、公園等の公共空間を活かせるものにしたいたいと考えている。時期においても、道路管理者や交通管理者と調整しながら、年内からできるように思っているが、まずは実験的にやらせていただき、その成果を見ていただきたい。

Q 八田 憲児議員

大津市民病院について
急性期医療の他、結核病棟や感染症病棟など政策医療を行うための使命を果たしている大津市民病院は、公設公営であり続けるべきと思うが、今後職員の定数条例の見直しも含め、どのような運営手法をとっていくこととされるのか伺う。

A 市民病院においては、職員定数が定められていることから、職員配置は制約を受け苦慮している。それらの課題解決のために経営形態のあり方検討に着手し、市民にとって必要とされる医療を提供できるよう、最適な経営形態を選択したいと考えている。